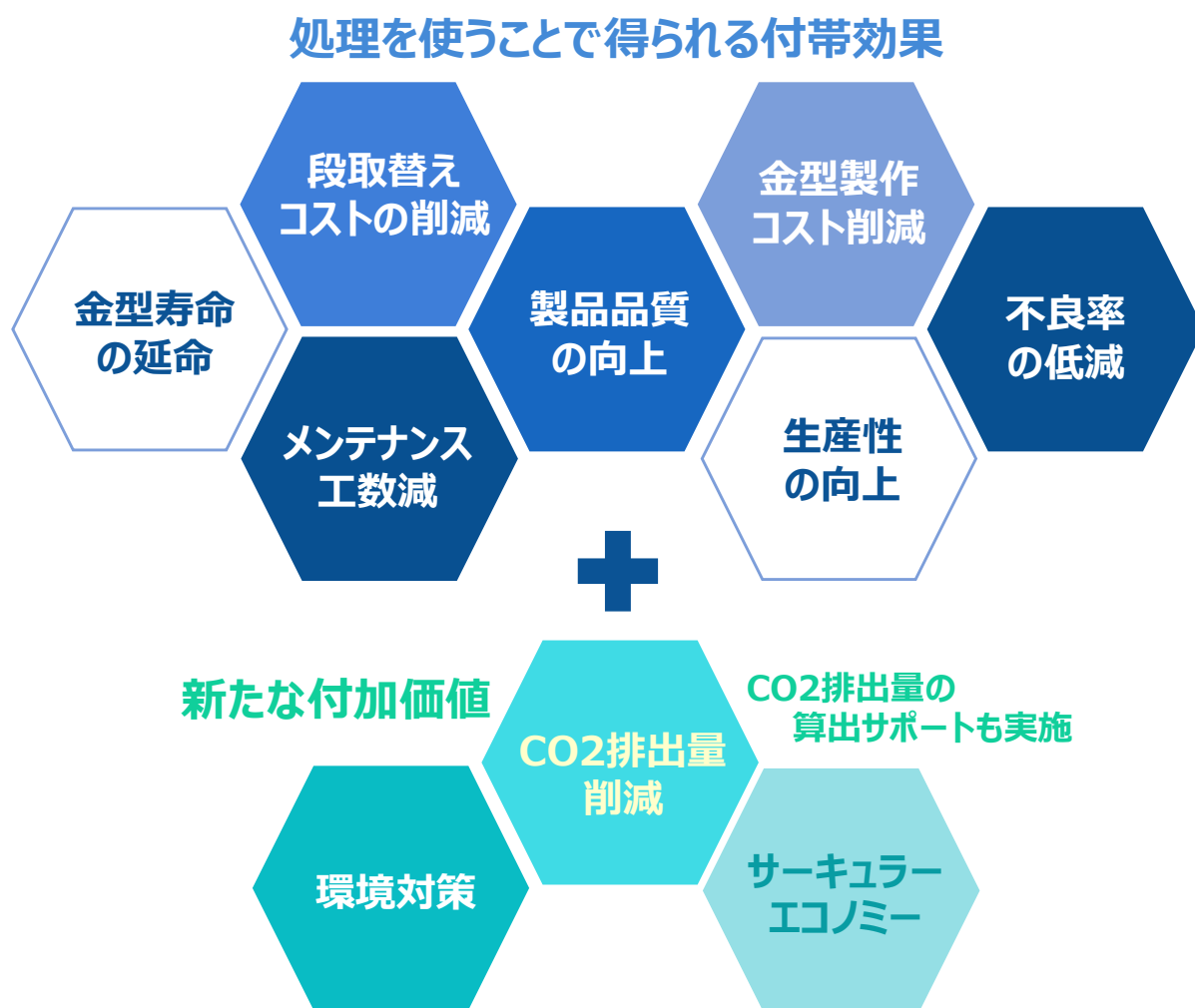


カナック処理で貢献する 

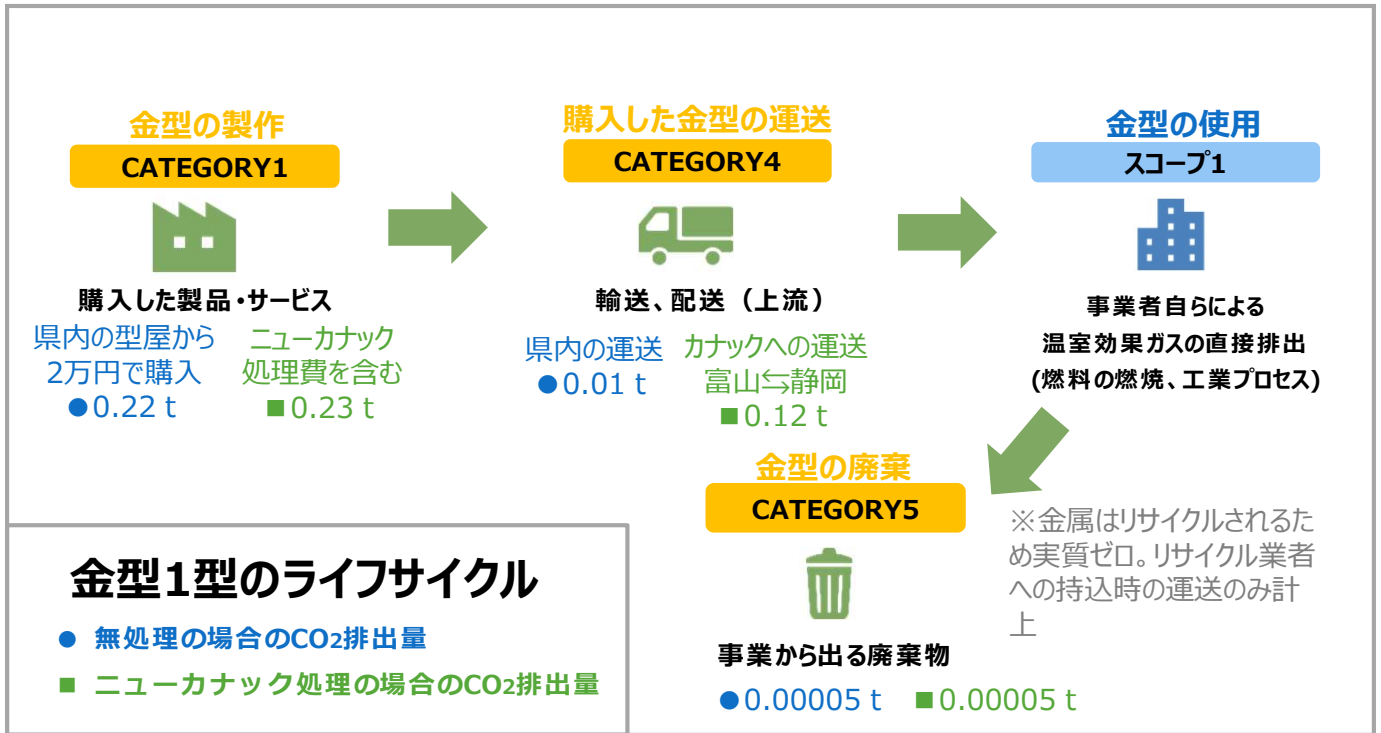
カーボンニュートラル

カナックの表面処理で金型の“Long Life”を実現し
CO₂削減と資源保護を目指す



CO₂削減に取り組むパートナー企業になりませんか？

事例 1 富山県・ビス製造会社の場合



1型のライフサイクル

	無処理	ニューカナック
生産本数	100万本	220万本
CO2排出量合計	●0.23005 t	■0.35005 t

金型の寿命が
2.2倍に

220万本生産



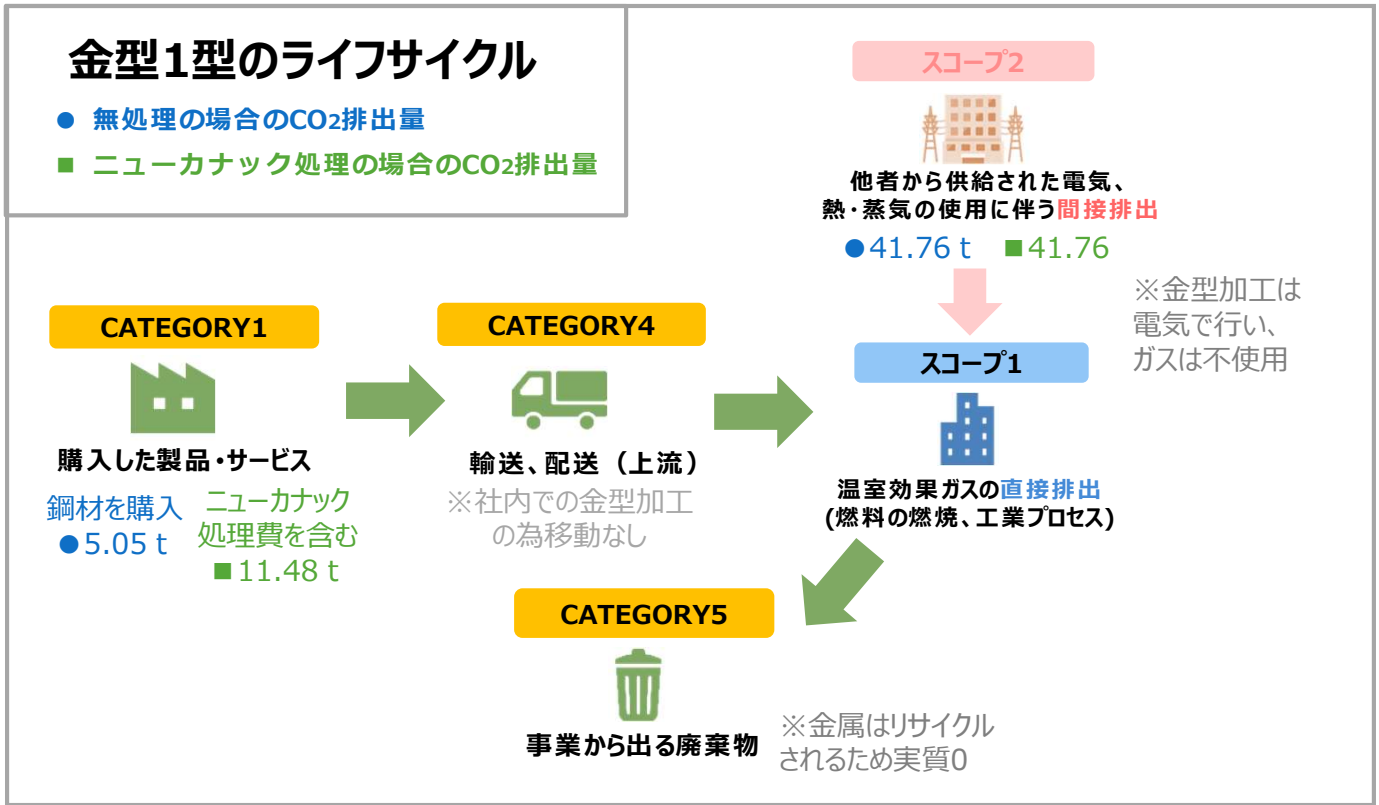
220万本生産時での比較

	無処理	ニューカナック
金型製作数	3個	1個
CO2排出量合計	●0.50611 t	■0.35005 t

CO2の排出量は
約30%削減

金型製作費 2個分で 4万円も削減

事例 2 事務用機器製造会社の場合



1型のライフサイクル

	無処理	ニューカナック
生産本数	64万個	130万個
CO2排出量合計	●46.81 t	■53.24 t

金型の寿命が

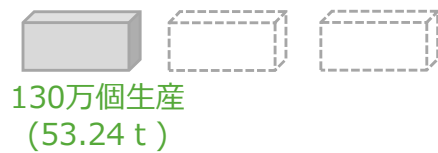
約**2**倍に

130万個 生産

無処理の場合



ニューカナックの場合



※3型目は今回条件では計算に含めず

130万個生産時での比較

	無処理	ニューカナック
金型製作数	2個	1個
CO2排出量合計	●93.62 t	■53.24 t

CO2の排出量は

44%削減

金型の鋼材費、加工にかかる時間・コストも 1型分 削減

製品のライフサイクル全体でCO₂の排出量を認識する

最近ではサプライチェーン排出量の開示を求める動きが広まっています。
まずは金型の製作から廃棄までのライフサイクルを把握し、『サプライチェーン排出量』を算出することから始めましょう。サプライチェーン排出量算定に必要な資料はWebサイト 環境省「グリーン・バリューチェーンプラットフォーム」に掲載
(http://www.env.go.jp/earth/ondanka/supply_chain/gvc/)

原料調達・製造・物流・販売・廃棄などの一連の流れから発生するCO₂排出量

サプライチェーン排出量

自社の直接排出

Scope1排出量

+

供給電力などの間接排出

Scope2排出量

+

Scope1,2以外の間接排出

Scope3排出量

Scope3 基準の15カテゴリ それぞれで算出

活動量の例

- ◆ 電気の使用量
- ◆ 貨物の輸送量
- ◆ 廃棄物の処理量

活動量

事業者の活動の規模に関する量

×

排出原単価

活動量当たりのCO₂排出量

排出原単価の例

- ◆ 電気1kWh使用あたりのCO₂排出量
- ◆ 貨物の輸送量1トンあたりのCO₂排出量
- ◆ 廃棄物の焼却1tあたりのCO₂排出量

※既存のデータベースから選択可能

上記のScope1,2,3を合計して自社のCO₂排出量の把握が出来ます。

カナックでは「製品生産数」を評価いただき、その結果と

お客様の「CO₂排出量算定方法」をもとに、

CO₂の削減量算出のお手伝いをさせていただきます。

この資料は「サプライチェーン排出量 詳細資料」(環境省)を加工して作成しております。
(https://www.env.go.jp/earth/ondanka/supply_chain/gvc/estimate_tool.html#no00)

Kanuc

株式会社カナック

〒426-0001 静岡県藤枝市仮宿1634-1

TEL:054-644-7988 / FAX:054-644-7987

【ホームページ】 <https://kanuc.net/> → QRコードからアクセス可能



経営戦略室 担当：山田 岡谷